

民間企業の取り組み

株式会社 サザコーヒー代表 鈴木太郎

企業は規模が小さいほど経営者や個人の人生に大きく影響される。

もちろん取り扱うサービスや商品も時代とともに影響されるし、

今まで良いと思われる価値も時代とともに変化する曖昧な土壌に立っている。

チャールズダーウインの「生存できるものは環境に対応し変化できたもの」とい

う言葉は企業の生き方にも充分当てはまる。

サザコーヒーも 1942 年に映画館経営する企業から 1969 年にコーヒーを中心と

する飲食業に舵を切り、2019 年にコーヒーを中心とした食品加工に変化を始め

た。今までの常識や習慣、価値も大きく変化し今を生きなくてはならない。

- 1) 労働者と経営者、扱いたい商品扱わなくてはならない商品、環境経営。

2) 食を通じた文化資産。

3) 評価の低いイベント。

4) 世界一の夢と挑戦。

1969年生まれ、東京農業大学農学部卒、コロンビアに25畝のコーヒー農園を持ち、茨城県と常磐線沿線に15店舗のサザコーヒー経営し、現在筑波大学 理工情報生命学術院 生命資源 M2 農産食品加工研在学中。日本スペシャルティコーヒー協会理事。